

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	思いや希望の言える方 思いあってもそれを表現できない方 全く伝えることができない方がおられる為 ホーム全員の自己決定が難しい	・個々にあった自己決定ができるよう 職員が個々を理解し 寄り添いながら たくさん声を引き出すように努力する	・簡単な二択のどちらか 事ある事に(好き嫌い)(するしない)(行く行かない) ご本人に尋ねて必ず決めてもらうようにする ・全く伝える事のできない方に対しては 声かけをし顔の表情から読み取るようにする	10ヶ月
2	39	年齢も高くなると日々の運動量も減ってきて 体も硬くなり 何もない所でつまずき転倒 骨折 寝たつきり状態となる恐れあり また、機能が衰え浮腫となっている方もおられる為 健康で若々しくなって頂きたい 洗顔時 気にする人は鏡の中の自分の顔を見るが ほとんどの人は鏡を見ようとしません	・1日1回は鏡の中の顔を見る 顔をマッサージする ・手足のマッサージをしリンパの流れをよくする ・全身の運動をゆっくり行う (柔軟性・脚力づくり)	・マッサージすることで職員とのふれ合いを十分に行う ・ラジオ体操 転ばん体操 歩行訓練をする ・お風呂にゆっくりつかり 全身の疲れや痛みをやわらげる ・肌つやがよくなりお化粧をして外出し 喜びや楽しみを 味わってもらう	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 37	認知症が進み、生活に慣れるとご自分から思いや意向を語られなくても生活が成り立っている。自主的に話をする機会、選ぶ機会を支援してあげたい。認知能力の程度を把握し、できる事を引き出し意欲の向上に努めたい	一人ひとりの認知症の症状を理解し、自尊心を傷つけない声かけにて、ご本人を介護される一方の立場におかない、対等の信頼関係を築く。生き生きとした表情で生活できる	・わかりやすい優しい声かけを行う(自尊心を傷つけない) ・自主的に話をする機会、選ぶ機会をつくる ・笑顔で生き生きとした生活ができるよう支援する	10ヶ月
2	27	記録をより一層活かす為、時間をかけずに職員同志で情報を共有できる	・見たい情報を見たい時に取り出せるように、記録を分類工夫し、職員同志で情報を共有できる。 ・時間をかけずに必要な情報を記録できる	・既存の記録の見直し ・申し送りノートの見直し、工夫して試してみる	10ヶ月
3	28	利用者様に喜んでいただけるよう、季節の行事・外出行事を行っているが、レベルの違い等もあり、もっと柔軟にゆったりとした計画で個別対応していきたい(外出行事は全員で!としていたが、人員配置も課題になっている)	利用者様がゆったりとした気分で楽しんでいただけるような季節の行事や外出行事ができる	・無理のない行事計画を立てる ・その月の担当を中心に協力して行う ・ゆとりある人員配置(通常業務に支障がないように)	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。